

**令和5年度ひとり暮らし高齢者等見守り活動に関する知事表彰  
受賞者の概要**

**1 地域団体**

**○ 高尾福祉長寿会（水巻町）**

特 徴	「黄色いハンカチ運動」等により、地域を巻き込んだ見守り活動を実施。
構 成 員	6人（会長、見守り担当、民生委員、児童委員）
活 動 年 数	6年7月（R5.11.1現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らしの高齢者を対象に週に1回、黄色いハンカチが掲揚されているか確認を行い、確認の可否をチェック表に記入して状況を把握している。掲揚がない場合は、雨戸・郵便受け・照明・洗濯物等を現認して、異常の有無を確認し、民生委員に連絡している。</li> <li>・黄色いハンカチ運動実施要領書に準拠し、見守り分担表を元に見守り活動を実施している。</li> <li>・毎月1回、見守り定例会議を開催し、ハンカチ掲揚実績等を共有し、見守りの実績、問題点やその対策、活動員のレベル合わせ、今後の方向性の検討を行っている。</li> <li>・月に1度自治会報を配布し、行事予定や掲揚率をお知らせし、見守り活動の体制づくりを行っている。</li> <li>・サロン活動を毎月実施し、歌唱や講演、体操、DVD鑑賞、昼食、ゲームでコミュニケーションをとっている。</li> </ul>

**○ 脇山校区社会福祉協議会（福岡市）**

特 徴	日常生活での見守り、声かけに加え、災害時の安否確認体制の整備、買物支援を実施。
構 成 員	79人（町内会長、民生委員・児童委員、主任児童委員、ふれあいネットワークボランティア）
活 動 年 数	15年7月（R5.11.1現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の安否確認を円滑に行うため、訪問時に介護保険サービスの利用状況を確認している。（山間部にあり、多くの地区が土砂災害ハザードマップ内に位置しているため、災害対策を強化。災害時に、自宅にいるのか、介護保険サービスの利用で外出しているのか混乱を招く可能性があるため、見守り活動で訪問した際に、見守り対象者の介護保険サービスの利用状況を聞き取ることで、災害時等の安否確認体制を整えている。）</li> <li>・社会福祉協議会・自治協議会・公民館が実施主体となり、近隣スーパーまで買い物支援バスの運行を開始している。</li> <li>・「よりあいどころ」として、脇山公民館で地域カフェを開催している。（近隣の介護事業所職員による健康体操や介護相談、熱中症やヒートショック等健康被害や詐欺被害防止の注意喚起も実施。）</li> <li>・脇山公民館での地域カフェだけでなく、公民館と協働して、他地区へ出向く形での出張地域カフェを開始。</li> </ul>

### ○ 宮若市老人クラブ連合会 ふれあい訪問部会（宮若市）

特 徴	月 10 回以上を目標に、買物や出かけるついでに訪問するなど、意識的に訪問回数を増やしている。
構 成 員	103 人（ふれあい訪問員・民生委員）
活 動 年 数	17 年 7 月（R5. 11. 1 現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内 29 クラブから選出された 2～3 名で、月 10 回以上を目標にひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦、昼間にひとりになる高齢者を定期的に訪問している。</li> <li>・話し相手や、日常の援助を行い、支援が必要な場合は各関係機関へつないでいる。</li> <li>・買い物や出かけるついでに訪問するなど、訪問回数を増やしており、定期的に会議を開催したり、常にアンテナを張り、普段と大きな変化はないか、本人や家の状況等を注意して観察したりすることを意識して見守りを行っている。</li> <li>・対象者との人間関係に重点をおき、訪問者自身の直接見た事実や近隣の協力的存在の第三者からの情報の入手に努め、2 ヶ月に 1 回、連絡会を開催し、地区ごとの研修や情報交換を行っている。</li> </ul>

### ○ ふれあい南（久留米市）

特 徴	活動員に人権研修等、複数の研修を実施し、きめ細かな見守り活動を実施。
構 成 員	185 人（ボランティア、校区社協理事）
活 動 年 数	33 年（R5. 11. 1 現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に 1 回以上、76 歳以上のひとり暮らし世帯、76 歳以上のみの世帯を中心に、見守り訪問活動（声かけ、安否確認、情報提供）を実施している。</li> <li>・コロナ禍でもつながりを絶やささないよう、インターホン越しや電話、メモ等での安否確認を継続し、孤立防止に努めた。</li> <li>・安否確認と同時に生活課題の有無を聴取し、関係機関につないでいる。</li> <li>・特に見守りが必要な対象者は、訪問回数を増やし、必要に応じて行政や関係機関へつないでいる。</li> <li>・2 ヶ月に 1 回程度、班長会を開催し、関係機関（社協、包括、保健所等）や校区社協からの情報提供、各自治会での訪問活動・サロン活動等の活動状況や気づきを共有している。</li> <li>・校区社協と連携し、認知症やフレイル予防、詐欺被害の防止などに関する様々な学習を通して得た知識や情報を共有するとともに、対象者にも情報提供している。</li> <li>・見守り活動等を行うに当たり、対象者に寄り添った関わり方を大切に、より質の高い活動が行えるよう、毎年 1 回、人権研修を実施している。</li> <li>・校区社協が策定した校区福祉活動計画（校区の地域福祉活動計画）を活動員に配布し、活動の方向性を共有している。</li> </ul>

## 2 事業者

### ○ 第一環境 ケイ・イー・エス共同企業体（北九州市）

特 徴	市や警察と連携し、現地訪問時に声掛けや現地状態の確認を行っている。
構 成 員	98人
活 動 年 数	10年1月（R5.11.1現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>水道料金滞納整理員が水道情報を元に年一回現地訪問時に声かけ、現地状態の確認（水道メーターの確認、郵便物がたまっていないか等）を行う。在宅の場合は声かけを行い、不在時は水道の使用確認と現地状態に異常がないか確認し、市町村に報告を行っている。</li><li>水道検針員が検針時に高齢者を見守り、異常があれば声かけや市町村や警察署、救急隊へ連絡している。</li><li>福岡県警協力のニセ電話被害防止に向けた取組として、訪問の際に県警から依頼されたチラシを配ったり、住民等の様子に異常が見られた際には注意喚起を行ったりしている。</li><li>夏場に熱中症予防のために単身高齢者等への声掛けを行っており、そのための研修として訪問の際に気に掛けるポイント等を検針員に周知している。</li></ul>

### ○ 読売センター 空港前（福岡市）

特 徴	毎日の業務で地域を回る際、市や救急隊・警察への通報を行う異変の基準を設けるなど、連携体制を構築。
構 成 員	20人
活 動 年 数	20年（R5.11.1現在）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>読売防犯協力会の構成団体として、新聞配達員の配達・集金時等の訪問活動で、地域の防犯活動を核とした見守りを実施している。</li><li>福岡市見守りダイヤルや救急隊・警察への通報を行う異変の基準（新聞がたまっている、照明の点灯が続いている等）を設けており、判断がつきにくい場合は、複数人で確認するように各配達員に指導している。</li><li>所長が、日々の業務のなかで、配達スタッフや集金スタッフに対し、一人暮らしのお年寄りや子供の安全を見守るように声掛けをしている。</li><li>店内ポスターのほか、配達バイクにも防犯パトロール中のシート、ステッカーを貼って啓発に努め、従業員の防犯意識を高めている。</li><li>毎年、契約世帯に「防犯リーフレット」を新聞に折り込み、地域の防犯活動や見守り活動の推進啓発を図っている。</li></ul>